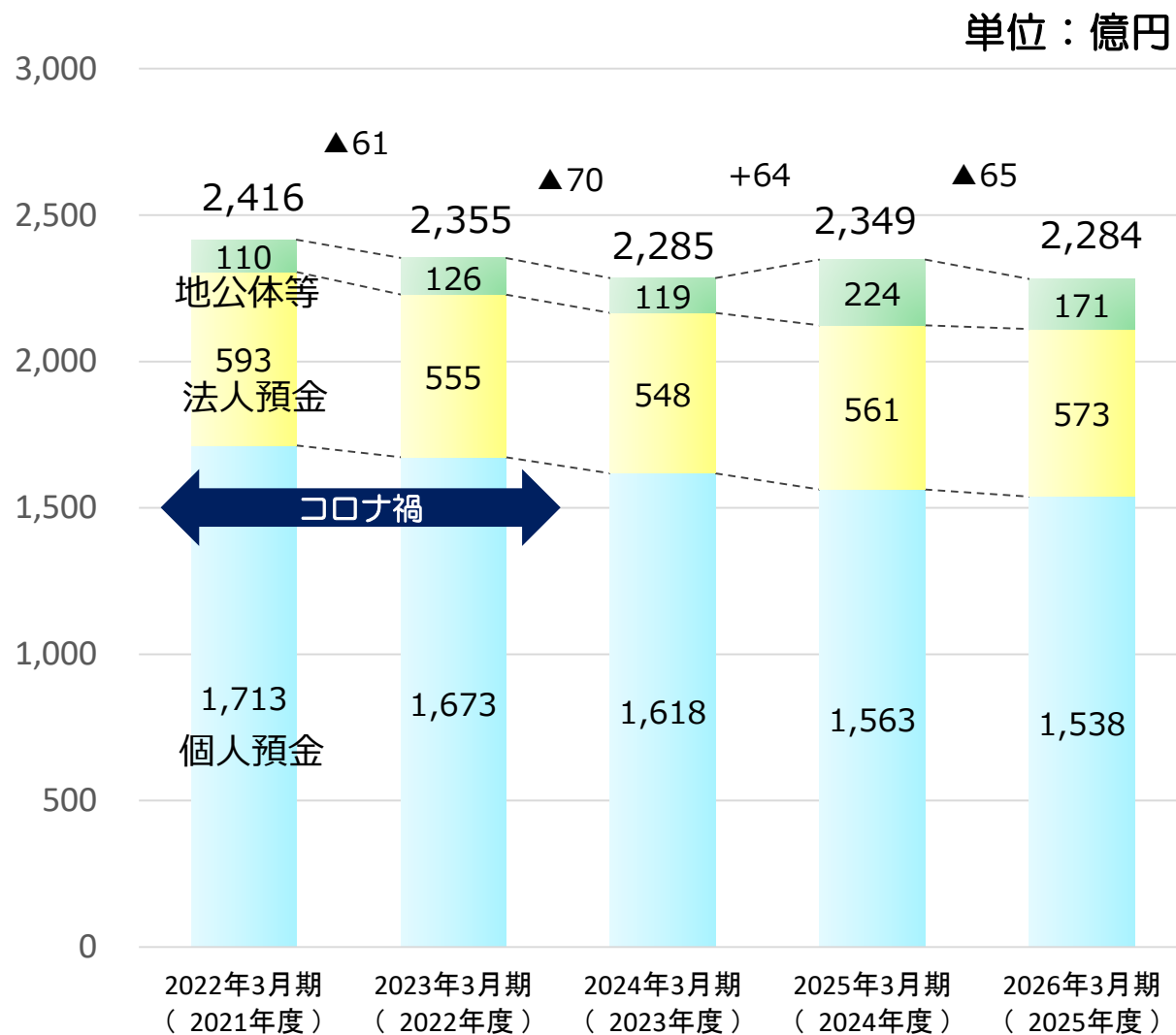
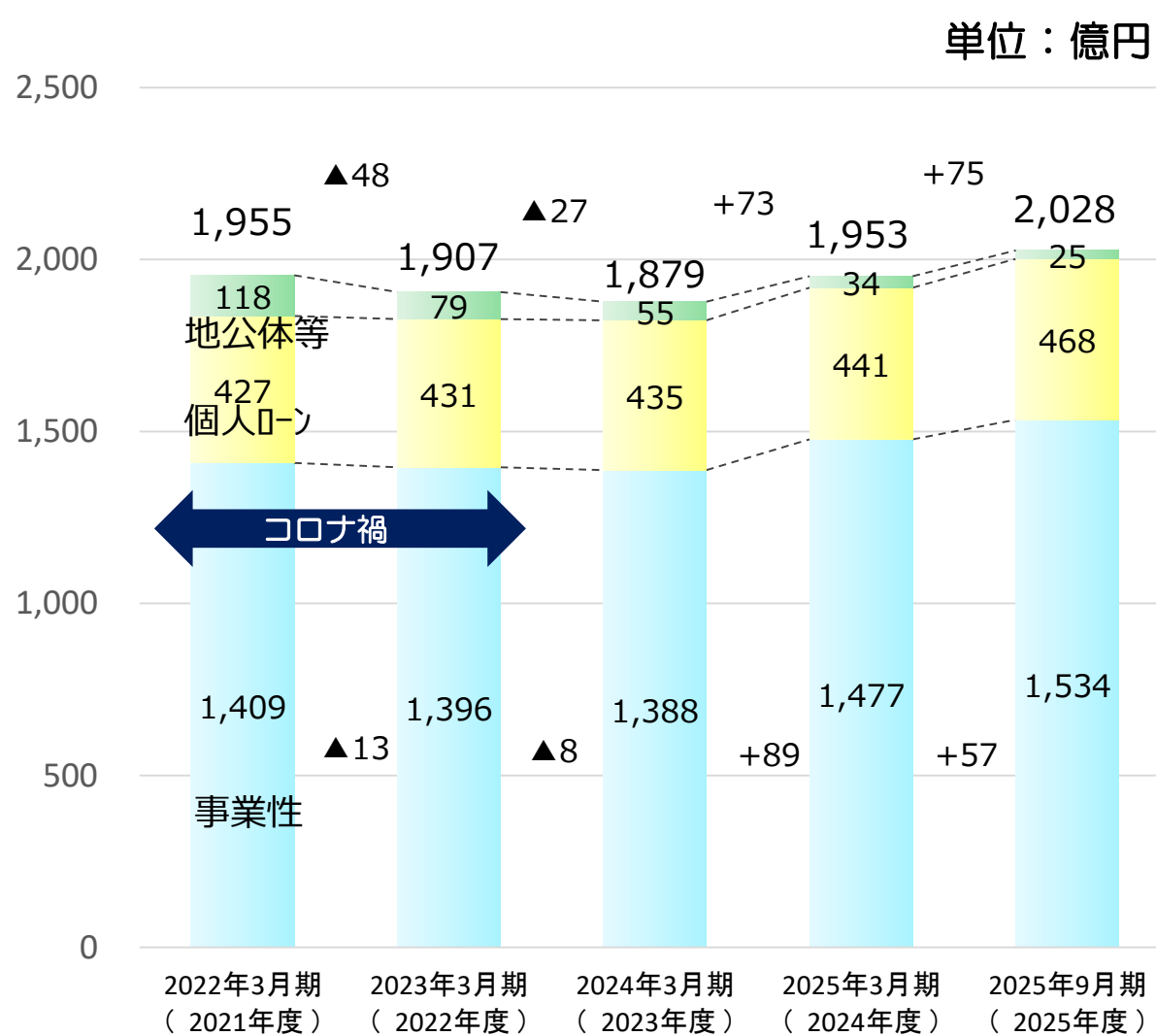


# **2026年3月期決算参考資料 (2025年度)**

# 1. 預金残高の推移



# 2. 貸出金残高の推移

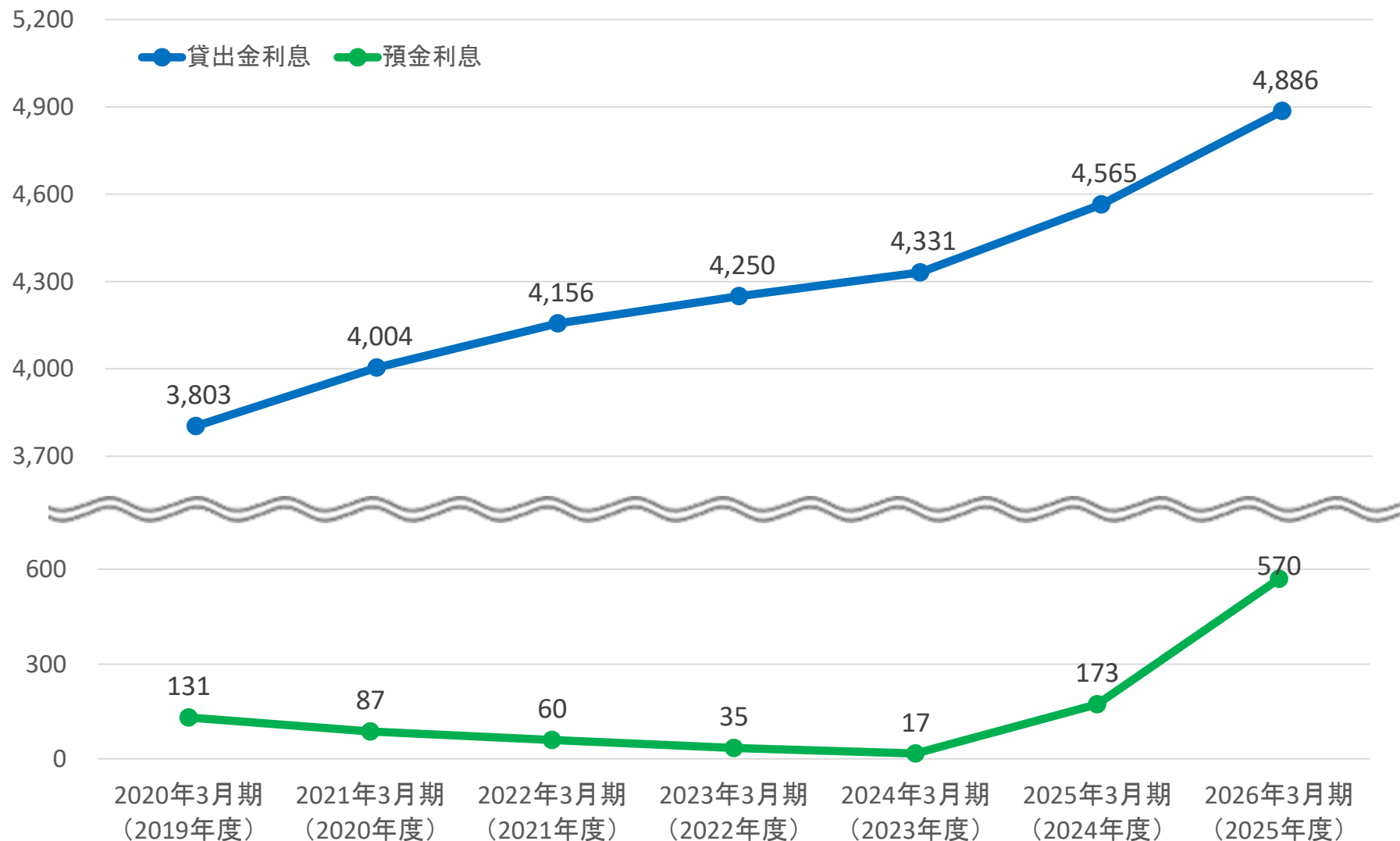


法人預金は増加したものの、地公体及び個人預金が減少した結果、前年度末比65億円減少し、2,284億円となりました。

地公体向け貸出は減少したものの、個人ローン及び事業性融資が増加した結果、前年度末比75億円増加し、2,028億円となりました。

### 3. 貸出金利息・預金利息の推移

単位:百万円

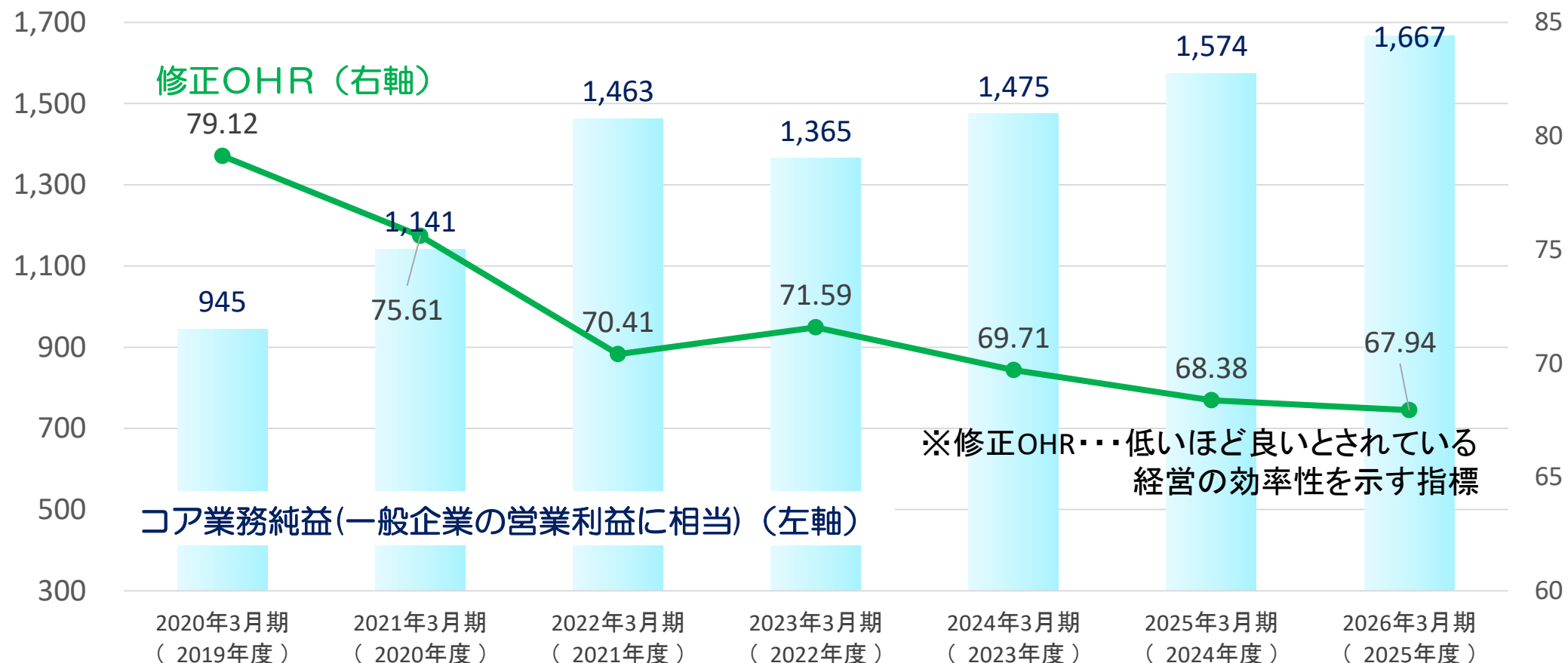


収入の大半を占める貸出金利息収入は、2017年3月期以降10期連続して増加しております。ただ、2024年3月以降、日本銀行の金融政策変更を受け本格的に金利のある世界に移行した影響により、預金利息も大幅に増加しております。

## 4. コア業務純益及び修正OHRの推移

単位:百万円

単位:%

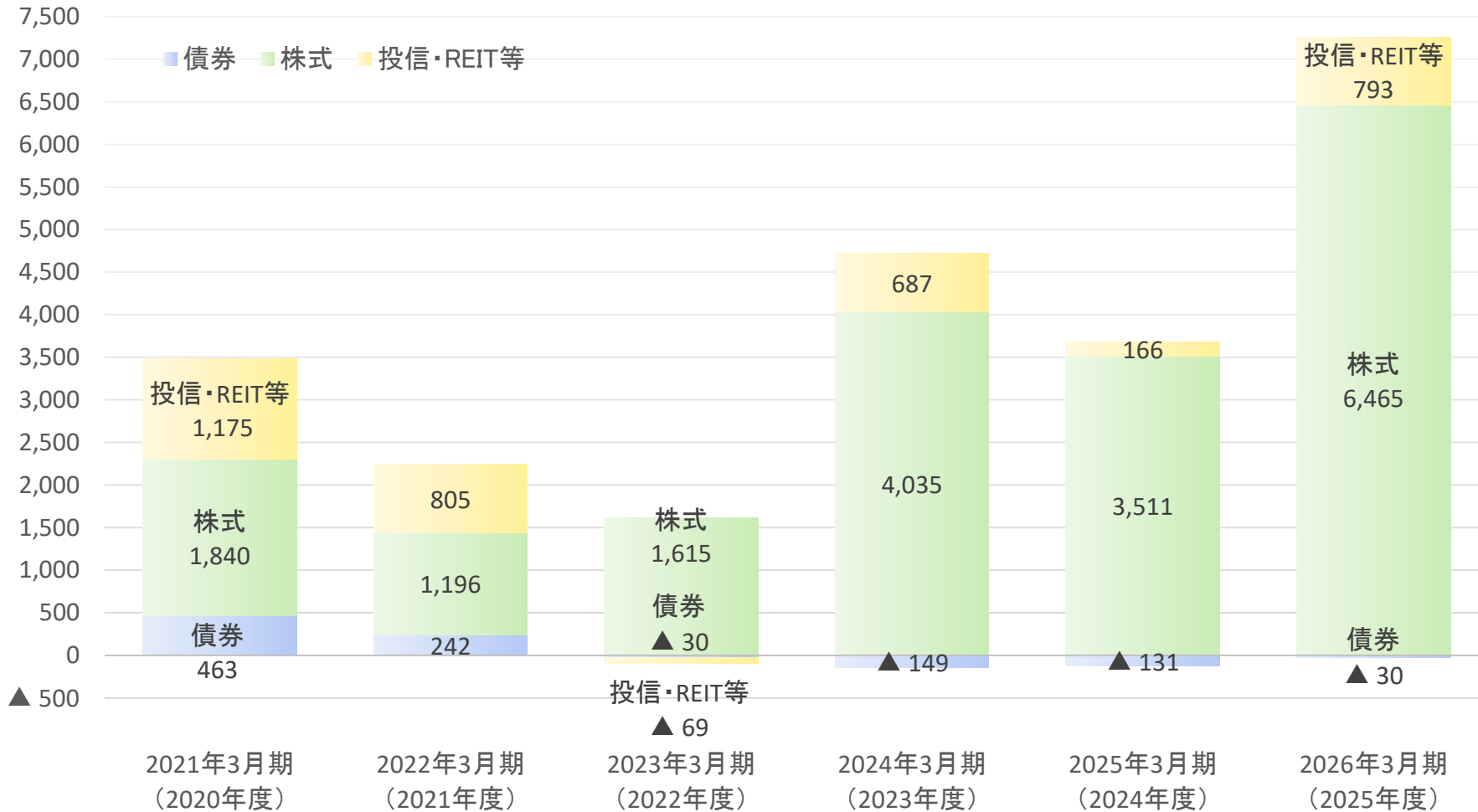


※修正OHR・・・低いほど良いとされている  
経営の効率性を示す指標

貸出金利息収入は、2017年3月期以降10期連続して増加しております。一般企業の営業利益に相当するコア業務純益は、増加傾向で推移しております。また、修正OHRは低下傾向にあります。

# 5. 有価証券含み損益の推移

単位：百万円



金利上昇リスクに対応するため、2025年3月期に▲737百万円、2026年3月期に▲284百万円の債券売却損益を計上しております。

2026年3月末時点での有価証券含み損益は、7,228百万円（前期末比+3,681百万円）と高水準を維持しています。

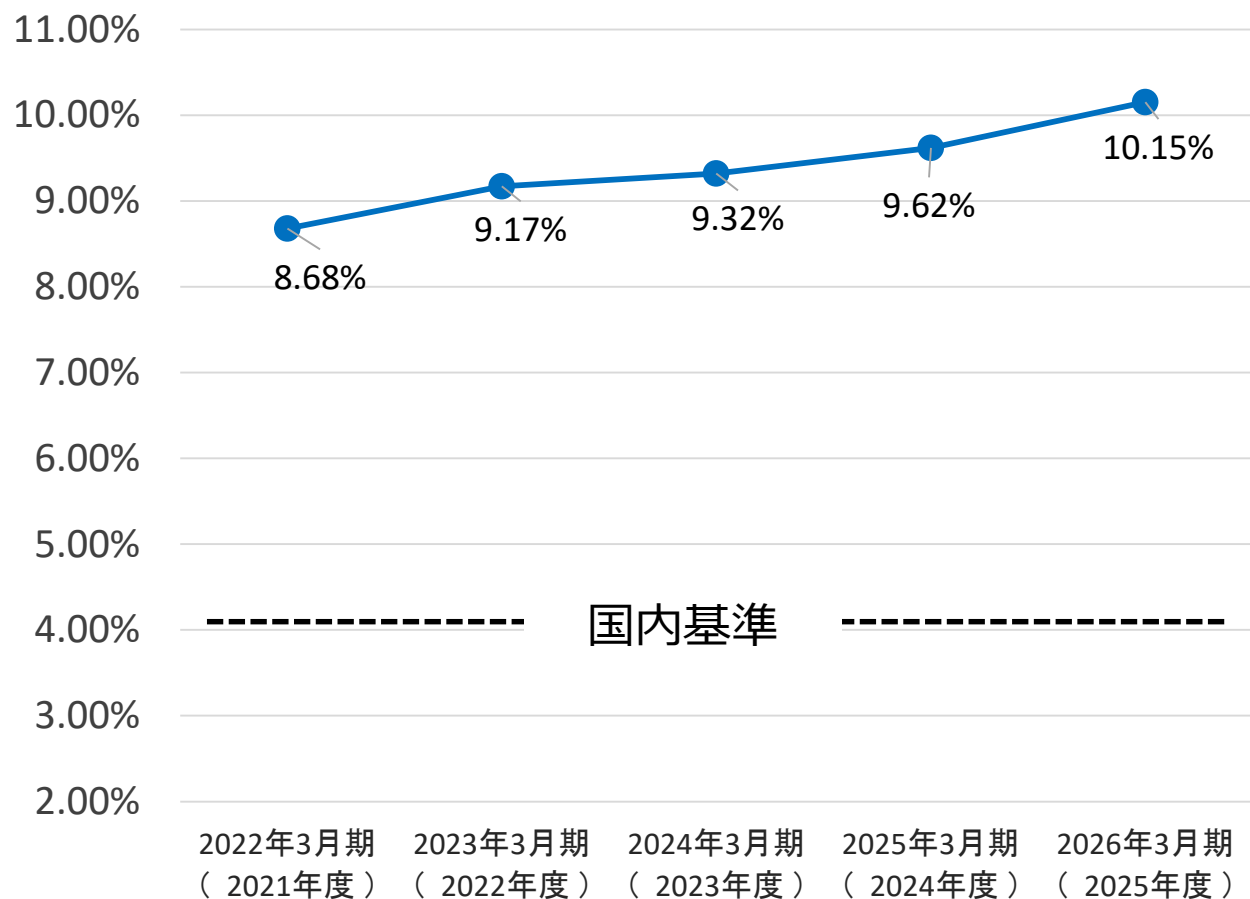
## 【売却損益】

単位：百万円

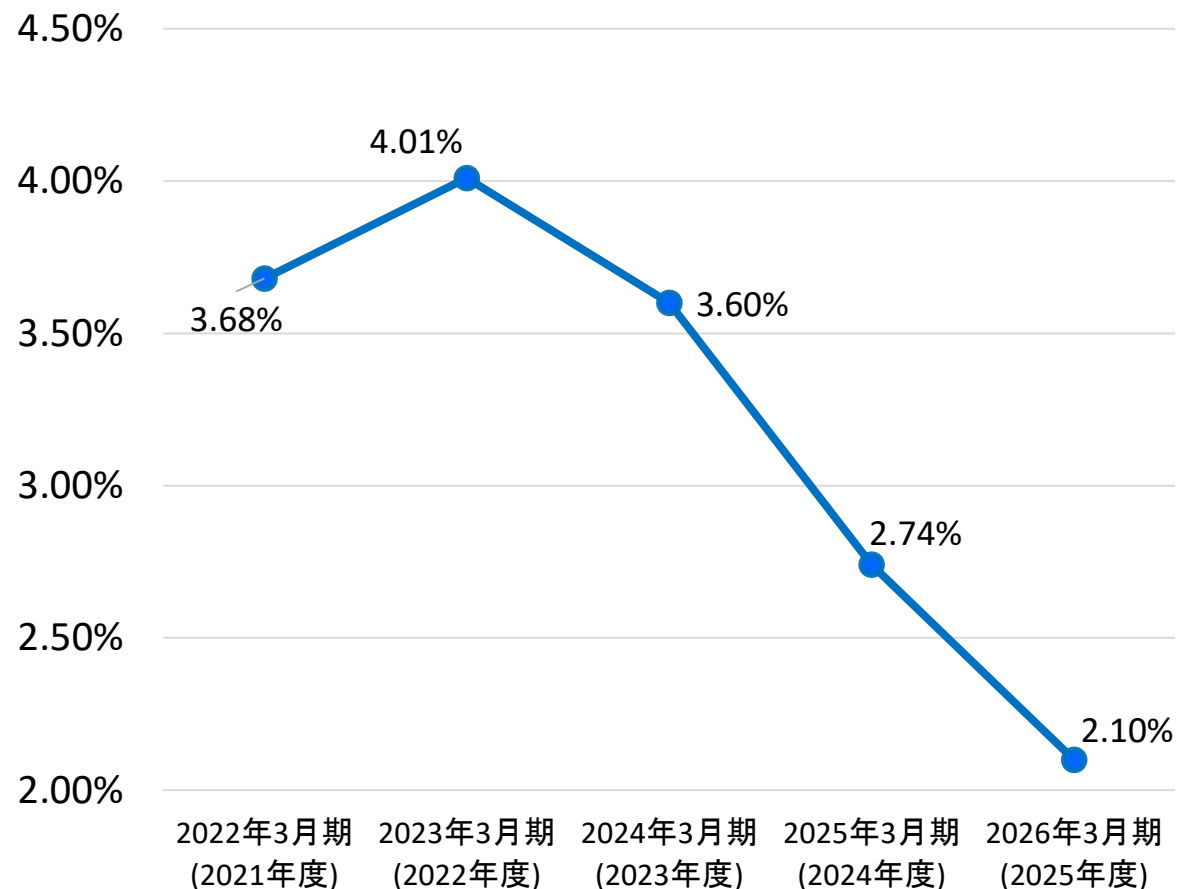
	2021.03	2022.03	2023.03	2024.03	2025.03	2026.03
債券	▲ 229	77	▲ 122	▲ 39	▲ 737	▲ 284
株式	91	35	63	292	277	1,190
投信・REIT等	108	52	▲ 40	▲ 13	40	15

## 6. 財務の状況（自己資本比率、不良債権比率）

### 自己資本比率の推移



### 不良債権比率の推移



自己資本比率は前年度末比0.53P上昇し、10.15%と国内基準（4%以上）を大きく上回っており、健全性を確保しております。不良債権比率は、2023年3月期以降低下傾向にあります。